

2019 年度実施概要

教育委員会名

気仙沼市教育委員会

採択活動名

気仙沼市海洋教育研究開発事業

取り組みの概要

1 推進協議会等の実施状況

市内のパイオニアスクールプログラム参加校（幼稚園3園，小学校9校，中学校3校）に加え，海洋教育に関する取組をする高等学校2校，東京大学大学院附属海洋教育センター特任講師，東京海洋大学三陸サテライト職員等，関係者が集まり、5回開催した。

それぞれの活動状況を共有するとともに，研修の部を設け，主に東京大学大学院附属海洋教育センターの田口康大特任講師に講話をしていただいた。

パイオニアスクールとしてのカリキュラムの開発に必要な事柄についても協議した。

2 特例校の申請状況（申請内容・校数・結果）

令和元年度は、「海と生きる」を震災復興のキャッチフレーズに掲げる気仙沼市らしい教育の推進に向けて、「海と生きる探究活動」という領域を設けて海洋教育カリキュラムを構築することとした。

「海と生きる探究活動」は，海に関する地域素材や人的環境を生かした体験的な学習を効果的に取り入れるとともに，単なる体験に終わらず，従来の教科の学習の一部を組み入れ，探究的な学習として構成した。

申請したのは1校で，特例校として認可された。

3 公開研究会・授業研究会・教員研修会・発表会等の実施状況

海洋教育こどもサミット（主催：岩手県洋野町 共催：気仙沼市教育委員会）

市教育研究員2名による海洋教育の研究及び授業研究

海洋プラスチックごみゼロプロジェクト研修会（教員対象研修会）

唐桑海洋サミット

大島海洋教育発表会

鹿折小海洋教育フォーラム

階上小海洋教育

4 外部機関との連携

東京大学大学院附属海洋教育センターとの連携による授業への講師派遣

宮城教育大学との連携による授業への講師派遣

東京海洋大学三陸サテライト主催事業への児童生徒の参加

宮城県気仙沼水産試験場の職員の会議への参加と情報共有

国土交通省の協力による海事教育の授業

特定非営利法人 WWF の協力による教員研修の開催

5 地域・保護者を対象とした報告会等の実施状況

海洋教育こどもサミット（主催：岩手県洋野町 共催：気仙沼市教育委員会）

唐桑海洋サミット（主催：唐桑小学校）

大島海洋教育発表会（主催：大島小学校）

鹿折小海洋教育フォーラム（主催：鹿折小学校）

階上小海のフォーラム（主催：階上小学校）

6 その他教育委員会としての取り組み

教育委員会では、市内の海洋教育の推進に向けて、海洋教育推進連絡会の運営を行うとともに、各校への指導・助言を行った。また、関係機関との連携を図り、大学や専門機関からの情報を収集し、各実践校に伝えた。

海洋教育に関する研修会を開催するとともに、気仙沼 ESD/RCE 円卓会議では、国立研究開発法人海洋研究開発機構の石原氏を招いた講演を行うなど、教員の海洋教育に関する関心を高めることに取り組んだ。

さらに、気仙沼市教育研究員制度の中で、2名の研究員の海洋教育を研究分野に取り組みについて、助言・指導を行った。

本年度から助成金が市会計で処理されることになり、全ての会計の処理を行った

活動参加校名 ※参加した学校の数に応じて記載してください

1. 気仙沼市立唐桑幼稚園
2. 気仙沼市立大谷幼稚園
3. 気仙沼市立小泉幼稚園
4. 気仙沼市立気仙沼小学校
5. 気仙沼市立鹿折小学校
6. 気仙沼市立階上小学校
7. 気仙沼市立大島小学校
8. 気仙沼市立面瀬小学校
9. 気仙沼市立唐桑小学校
10. 気仙沼市立中井小学校
11. 気仙沼市立小泉小学校
12. 気仙沼市立大谷小学校
13. 気仙沼市立大島中学校
14. 気仙沼市立唐桑中学校
15. 気仙沼市立大谷中学校